

特定非営利活動法人
社会基盤ライフサイクルマネジメント研究会
Society of Lifecycle Infrastructure Management
<http://www.slim-japan.org/>

— 内 容 —

1. 理事長あいさつ
2. 理事及び顧問
3. 組織体制および役員・委員会構成
4. 委員会活動
 - ・技術委員会
 - ・マネジメント委員会
 - ・国際協力委員会
 - ・コミュニケーション委員会
5. 会員名簿

2014年4月1日現在

理事長あいさつ



日本近代史80年周期説というのがあります。明治維新動乱（薩長連合 1865）、太平洋戦争敗戦（1945）、そして昨今の政治・経済・社会の混迷を外挿してみても、不安の募る2025年はそう遠くありません。

そんな途方もない書き出しの所以は、このNPO法人「SLIM Japan」の立ち上げに関わった仲間の多くが、そのどん底であった1945年前後に生を受け、そして平均寿命の80年をその周期説に合わすかのように生きていくことと無縁ではないのかも知れません。もちろん、世直しをしようなどと大それた考えがあるわけではありませんが、どこかじっとしておれないというのもまた事実です。そんな思いが背中を押しました。ほとんどが第一線を退きましたが、培ってきた技術や経験はそう簡単に朽ちるものではありません。すばらしい経験もそうですが、“どうしてこんなことが・・・”という苦々しい経験こそを伝え継いで行きたいと考えています。

これまでの約65年を振り返って見ますと、社会に出て幸い右肩上がり高度成長期の中、建設技術者として多くの社会基盤形成に関わることが出来ました。右も左も覚束ないなりに、それこそ昼夜を分かたず努力してその設計に、建設に関わった施設が早いもので40年近い歳月を迎えようとしています。建設後50年というのが通常こうした施設の耐用年数(寿命)といわれていますが、人間でいえば高齢化世代に入ってきた訳です。せめて自分たちの世代が造ってきた施設を長寿化させ、一人でも多くの国民に役立ってもらいたいとの思いがあります。そして、そうした思いが次の世代に引き継がれ、持続可能な社会形成に役立つことを願っています。

「社会基盤」は国民にサービスを提供するものであり、改善を含め適切に維持管理・運営されて始めてその「ライフサイクル」が全うされること、そしてそれには的確な「マネジメント」が求められることは明らかですが、最近ようやくその認識が共有され出したようです。

以上のような「意識」でNPO法人活動を開始して「情熱」を傾けてまいりましたが、早いもので今年は6期目に入ります。平成23年3月11日に発生した未曾有の大震災は、日本国民一人ひとりに厳しい試練を求めています。17年前の阪神大震災は「ボランティア元年」と称されNPOもそれを担う組織として認識されてきました。今回のそれを凌駕する災害は、さらに「社会」が大きな役割を果たす時代への警鐘との認識で、「ソーシャル元年」へと発展していくと信じます。そのような視点で活動を継続したいと「意識」を新たにしておりますので、どうかよろしくご声援をお願い致します。

2014年1月
理事長 有岡正樹

理事および顧問

(1) 理事

理事長	有岡 正樹	高知工科大学非常勤講師、元熊谷組執行役員
副理事長	阪田 憲次	岡山大学名誉教授
理事兼事務局長	松本 政雄	ソイルアンドロックエンジニアリング(株)
理事	竹岡 伸一郎	元三井住建道路(株)副社長
	田中 雄作	田中技術士事務所所長、元(株)熊谷組ダム部長
	大島 邦彦	(株)熊谷組執行役員プロジェクトエンジニアリング室室長
	建山 和由	立命館大学工学部教授
	佐々木 宜彦	前(財)発電技術検査協会理事長
	前田 博	西村あさひ法律事務所パートナー弁護士
	辰巳 正明	オリエンタルコンサルタント顧問
	海藤 勝	英国仲裁士、Trett Consulting Japan パートナー
	福手 勤	東洋大学工学部都市環境デザイン学科教授
	蟲明 眞一郎	(株)環境創造社長
	岸野 啓一	岸野都市交通計画コンサルタント(株)社長
	塩入 淑史	元独立行政法人水資源機構参与
	小谷 義博	(有)建設サービス(代表取締役)
監事	田邊 大次郎	(株)熊谷組プロジェクトエンジニアリング室部長

(2) 顧問

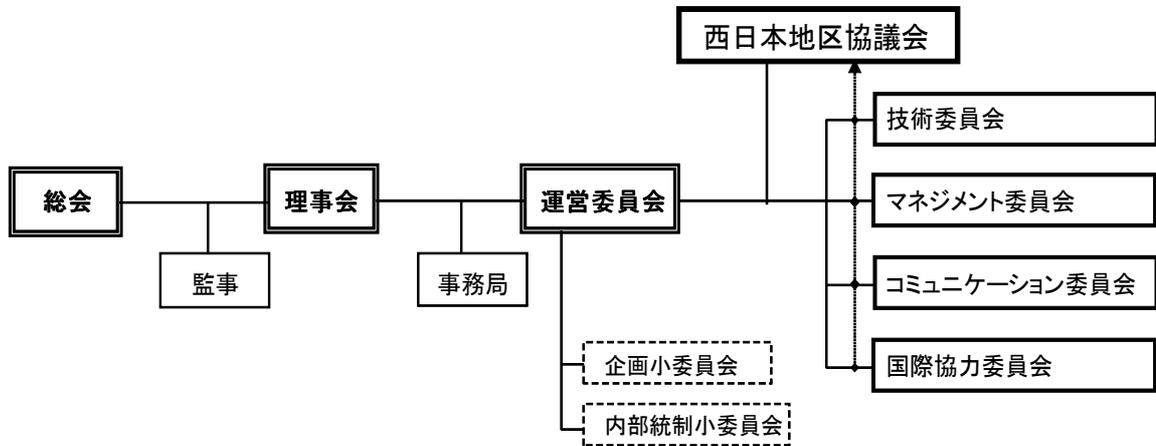
松尾 稔	(財)科学技術交流財団理事長、 (財)名古屋都市整備公社 最高顧問、元名古屋大学総長
野田 健	(財)公共政策調査会理事長、元警視總監ならびに内閣危機管理官

(3) 会員動向 (2014年4月1日現在)

	会員種別	個人	法人	計
国内	正会員	58	11	69
	賛助会員(口数)	4(4)	2(11)	6(15)
海外	正会員	4	1	5
	計	66	14	80

組織体制および役員・委員会構成

(1) 組織図



注1) 運営委員会は、正副理事長、4委員会正副委員長ならびに西日本地区協議会正副幹事により構成する。

注2) ↑印は、事業により2つ以上の委員会が連携・協働する可能性を示している。

(2) 委員会および西日本地区協議会役員

運営委員会	委員長：有岡正樹，	副委員長：阪田憲次
企画小委員会	委員長：田中雄作	
内部統制小委員会	委員長：竹岡伸一郎	
事務局	事務局長：松本政雄	
技術委員会	委員長：福手 勤，	副委員長：鈴木 泉
マネジメント委員会	委員長：有岡正樹，	副委員長：塩入淑史
コミュニケーション委員会	委員長：田中雄作，	副委員長：松本政雄
国際協力委員会	委員長：海藤 勝，	副委員長：辰巳正明
西日本地区協議会	幹事：蟲明眞一郎，	幹事：小谷義博

(3) 委員会委員構成表（重複含む）

委員会名	東日本	西日本	海外	計
技術委員会	14	14	0	28
マネジメント委員会	11	7	3	21
コミュニケーション委員会	4	5	0	9
国際協力委員会	13	4	6	23
計	42	30	9	81

(4) 事務所等

〒101-0047 東京都千代田区内神田 3-2-9 SP ビル 2 階（株地域未来研究所内）

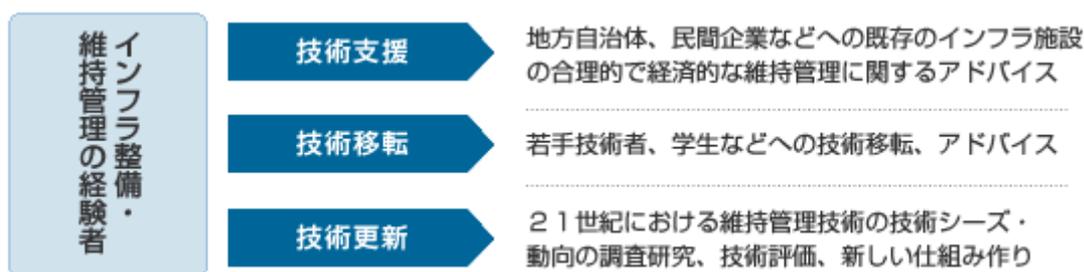
Tel : 03-6905-7273 Fax : 03-3252-9666

Mail : contact@slim-japan.org ホームページ : <http://www.slim-japan.org/>

委 員 会 活 動

技 術 委 員 会 Technical Committee

活動目的



活動内容

【対外活動】

1. 社会基盤の維持管理・運営などに関する地方自治体や民間企業への講師派遣、講習会共催、アドバイス
2. 地方自治体、民間企業、NPO の連携による社会基盤の維持管理のための技術支援民間企業への技術提案サポート
3. 大学・高専・高校・地方自治体への出前講義

【内部活動】

1. 事業（空港・港湾、電力、鉄道、インフラ道路など）に関する調査・補修技術の評価活動
2. 国内外のインフラ事業に関する各種技術提案
3. 会員への勉強会・研究会の開催、新技術情報の提供
4. 地域に密着した維持管支援体制の確立のためのネットワーク整備

委員会構成 29名（20134.04.01 現在）：ゴシック（東日本）、明朝（西日本）

【委員長】 福手 勤 【副委員長】 鈴木 泉

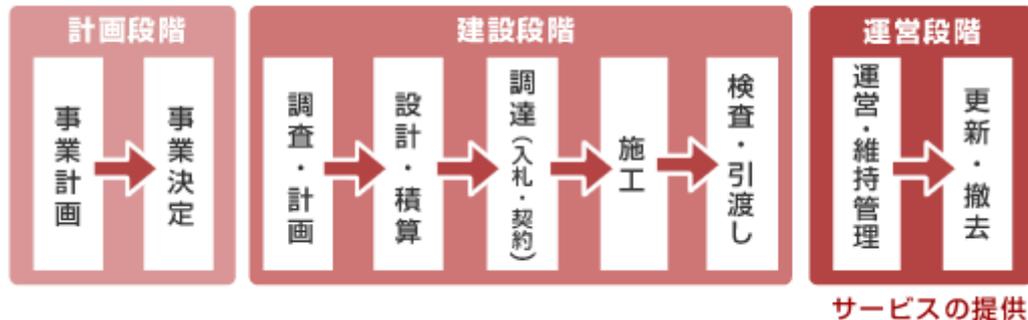
【委員】 綾野克紀、 稲葉 力、 葛目 和弘、 蔵本 修、小谷義博、
高山知司、 建山和由、 田中雄作、 西岡 哲、 林 英雄、深川良一、
牧野元夫、 松浦幸三、 宮地明彦、 宮下裕美、 山中鷹志、
藤岡 靖、 上野康信、 増田年紀、 木越正司、 鶴野禎史、 木村哲晃、
久下晴巳、 山田 清、 神 弘夫、丸山 明、塚原健一

マネジメント委員会 Management Committee

活動目的

社会基盤ライフサイクルのパラダイムシフト
ー建設から運営・維持管理（サービスの提供）へ！ー

【建設事業のライフサイクル】



活動内容

【対外活動】

1. ライフサイクル・マネジメント
 - ・ PFI・PPP 事業の包括的・長期的モニタリング支援活動
 - ・ 地域社会基盤サービスの事業化マネジメントの具体的評価と提言
2. サステナビリティマネジメント
 - ・ 既存施設の Re-エンジニアリングマネジメント
 - ・ 災害により喪失した社会基盤機能の復旧と維持管理手法検討
3. 建設事業に関わるコンプライアンスマネジメント・
 - ・ 建設事業に関わる合意形成のための調査、コンサルティング、委員会受託業務
 - ・ 仲裁、係争、訴訟および補償等の法務対策のための調査、コンサルティング

【内部活動】

1. 対外活動を視点に据えた委員会横断的な自主研究と外部機関との連携活動
(ワークショップ設置と外部機関と連携しての調査活動等)
2. 国際協力機関との連携による海外動向の把握
3. 講演会、シンポジウム、意見交換会等の企画・立案・調整

委員会構成 23名 (2014.04.01 現在) : ゴシック (東日本)、明朝 (西日本)

【委員長】 有岡正樹 【副委員長】 竹岡伸一郎

【委員】 安土健二、石井 元、植田和男、大島邦彦、紙谷和典、小谷義博、塩入淑史、曾我彰彦、千代啓三、長井紳一郎、福井 滋、松浦幸三、松本政雄、宮下裕美、宮本文穂、蟲明眞一郎、神 弘夫、岩原廣彦、藤黒 邦博、丸山 明
(海外) John Black (豪州)

国際協力委員会 International Cooperation Committee

活動目的



活動内容

- (1) コーディネーション機能：各種国内外団体との協働・アドバイス
 1. 初期 FS（事業化調査）や海外 PPP 事業計画への協力・支援
 2. 海外リスクマネジメントのアドバイス（契約時など川上段階での参画）
 3. 海外プロジェクト問題解決への協力
- (2) 海外プロジェクト環境づくり
 4. 海外プロジェクトの紹介（日系法人事業含む）
 5. 海外プロジェクトの調査・企画・提案への支援
- (3) その他支援業務
 6. 講演会・研修会企画、講師派遣
 7. 海外進出建設企業へのアドバイス・社員教育

【内部活動】

1. 会員情報のデータベース化 → 専門・得意分野を検索しやすいキーワードを使用した実務経験
2. 研究会や勉強会の開催 → 他の委員会からの参加も促進
3. 国内外登録プロフェッショナルの整備・更新
→ 海外アドバイザーなど会員が有する人脈を情報ネットワークとして構築

委員会構成 20名（2014.04.01 現在）：ゴシック（東日本）、明朝（西日本）

【委員長】 海藤 勝 【副委員長】 辰巳正明

【委員】 有岡正樹、石井 元、植田和男、大島邦彦、紙谷 和典、竹岡伸一郎、深川良一、福若雅一、前田 博、宮本文穂、神 弘夫、藤黒邦博、塚原健一、有岡美知子（海外）橋爪 伸浩、John Black、Kam Tara（豪州）、西嶋 義哲（インドネシア）、

コミュニケーション委員会 **Communication Committee**

活動目的

1. SLIM Japan 内部の各委員会・メンバー相互の意思の疎通をはかること。
2. SLIM Japan の活動を広く内外にアピールすること。
3. 関連 NPO 法人等との連携をはかること。

活動内容

対外活動

1. HP による SLIM の活動及び成果の PR
2. 講演会・シンポジウム・見学会等の開催・運営（企画は運営委員会）
3. パンフレット作成・更新、機関誌の発行 等
4. 関連 NPO 法人等との意見交換
5. 新規会員の募集

内部活動

1. HP の立ち上げ・維持管理
2. グループウェアの維持管理
3. SLIM メンバーの個人情報の整備・維持・更新・公開・活用
4. 各委員会との連携による SLIM 内部活動の企画・調整・運営
5. 講演会・シンポジウム・見学会の調整・運営

委員会構成 10名（2014.04.01 現在）：ゴシック（東日本）、明朝（西日本）

【委員長】 田中雄作 【副委員長】 松本政雄

【委員】 稲葉 力、岸野 啓一、蔵本 修、鈴木 泉、 阪田 憲次、相馬 裕、宮地 明彦、
小谷 義博

会 員 名 簿

(2014年4月1日現在)

◆ 個人会員

	姓 名	勤務先	技術支援可能分野
2	安土 健二	元日本ケーブル(株)取締役	ロープウェイ・リフト・スキー場開発
3	綾野 克紀	岡山大学大学院環境学研究科(教授)	コンクリート工学 下水等インフラメンテナンス
4	有岡 正樹	理事長 高知工科大学非常勤講師 元熊谷組執行役員技術研究所長	建設マネジメント(PM,CM) 事業手法(PPP/PFI) Re-エンジニア(土壌リサイクル) 国際協力事業
5	有岡 智昭	有岡司法書士事務所	不動産鑑定業務(日本および中国) 司法書士業務全般(登記会社設立等)
6	有岡 美知子		英文経理
7	石井 眞	(株)ゼネス(顧問)	建設マネジメント(PM, CM)
9	市橋 義臣	協拓建設(株)相談役 (元鹿島建設(株)統括技師長)	建設マネジメント(PM,CM)
10	稲葉 力	(株)ライズコンサルティング(代表)	土壌浄化(ダイオキシン、PCB) アスベストの無害化再資源化 岩盤力学地盤工学 情報利用技術・知的財産相談業務
12	岩原 廣彦	香川大学危機管理センター(副センター長)	リスクマネジメント
13	植田 和男	日本PFI・PPP協会(理事長)	事業手法(PPP/PFI) 国際協力事業
14	大島 邦彦	(株)熊谷組 プロジェクトエンジニアリング室(執行役員室長)	事業手法(PPP/PFI) アセットマネジメント リスクマネジメント
17	海藤 勝	Kaido & Associates	建設会社紛争仲介 調達・建設マネジメント 事業手法(PPP/PFI)
9	岸野 啓一	岸野都市交通計画コンサルタント(株)(代表取締役)	調査の企画実施分析、計画策定
20	葛目 和宏	(株)国際建設技術研究所(代表取締役社長)	コンクリート構造物維持管理
21	蔵本 修	(株)ピーエス三菱大阪支店	コンクリート材料・構造物
23	小谷 義博	(有)建設サービス(代表取締役)	調査設計施工管理技術 仲裁係争訴訟補償等
26	阪田 憲次	副理事長 岡山大学名誉教授	コンクリート工学(構造物劣化調査)
27	佐々木 宜彦	(財)発電設備技術検査協会(理事長)	電力事業
29	塩入 健史	東北設計計画研究所(会長)	建築設計(医療福祉)
30	塩入 淑史	元独立行政法人水資源機構・参与	ダム事業・技術
32	相馬 裕	(一般社団法人)弾性波診断技術協会(相談役)	建設フランチャイズ 杉檜の樹皮による土壌改良技術 火薬学とその演習

33	高山 知司	(財)沿岸技術研究センター 沿岸防災研究所長(参与)	海岸工学 (海岸港湾構造物)
34	竹岡 伸一郎	元三井住建道路(株)副社長	建設マネジメント PM,CM) 道路保全
36	建山 和由	立命館大学理工学部 環境システム研究科 (教授)	建設施工(情報化施工) 地盤工学 (地下工事)
37	竹林 征三	NPO 風土工学デザイン研究所 (理事長)	
38	辰巳 正明	(株)オリエンタルコンサルタンツ (顧問)	橋梁維持管理技術 国際協力事業
39	田中 雄作	田中技術士事務所	ダム事業・施工計画、管理
40	田邊 大次郎	(株)熊谷組土木事業本部 (環境事業部部長)	環境事業
42	長井 紳一郎	山下哲夫法律事務所(弁護士)	
43	中本 和洋	中本総合法律事務所(弁護士)	
44	西岡 哲	(株)地圏環境テクノロジー (代表取締役社長)	水資源・水環境・水災害シュミレー ション
45	西嶋 義哲	(財)中小企業国際人材育成事業団	国際協力事業(インドネシア他)
46	橋爪 伸浩	Kumagai Australia Pty Ltd	事業手法(PPP/PFI)
48	林 英雄	元フジタ	地盤工学(地下工事・ジオテキスタイル) 施工管理・係争の支援
49	深川 良一	立命館大学理工学部(教授)	
50	福手 勤	東洋大学理工学部都市 環境デザイン学科(教授)	インフラ管理保全 空港工学 PMS(Pavement Management System)
51	福若 雅一	独立行政法人国際協力機構 (国際協力専門員)	国際協力事業
52	藤黒 邦博	元熊谷組海外本部	米国土木関連文献等調査 建設マネジメント(PM, CM)
53	本庄 正史	(株)大林組(顧問)	
54	前田 博	西村あさひ法律事務所(弁護士)	法律制度 事業手法(PPP/PFI)
55	牧野 元夫	(株)レプロ(代表取締役)	建物修繕改修工事コンサルタント 劣化診断、長期修繕計画
56	増田 年紀	SMCシビルテクノス(株)(顧問)	コンクリート構造物補修、補強(橋梁)
57	松浦 幸三	(株)熊谷組 (土木事業本部顧問)	建設マネジメント(PM,CM)
58	松村 博		
60	宮下 裕美	元テクノス(株)	地盤工(地下工事) Re-エンジ(土壌リサイクル)
61	宮本 文穂	山口大学大学院理工学研究科 環境共生系専攻(教授)	橋梁診断システム開発 国際的な共同研究
62	宮地 明彦	宮地苔緑化研究所	Re-エンジ(RC 構造物・汚染土壌対 策・土構造物維持補修) 構造物緑化対策
63	蟲明 眞一郎	(株)環境創造(代表取締役)	住民主体の街づくり 既存建物のリニューアル

65	山中 鷹志	元(財)海洋架橋調査会	橋梁設計(建設コスト比較検討) 橋梁 LCM(現況調査、解析)
66	藤岡 靖	西日本高速道路エンジニアリング九州(株)	コンクリート構造物維持・更新 橋梁アセットマネジメント
67	石井 元	(株)日本構造橋梁研究所 (海外部部長)	海外建設マネジメント 国際事業協力
70	紙谷 和典	日本推進建設(株)(代表取締役) 立命館大学テクノロジー・マネジメント研究科博士課程後期課程	管路更生 推進工事
72	鶴野 禎史	㈱川金コアテック技術本部 (執行役員技術研究所長)	橋梁用支承の維持管理
73	Black John	オーストラリア NSW 大学 (客員教授)	交通・都市工学 PPP/PFI 事業 Capacity Building Stake Holder Involvement
74	松本 政雄	事務局長 ソイルアンドロックエンジニアリング(株)	地震被害想定 下水道不明水シミュレーション
75	木越 正司	(株)相建エンジニアリング (代表取締役)	調査の企画実施分析、計画策定
76	小石川 隆太	日本アジアグループ 東日本復興支援本部(担当部長)	事業手法(PFI・PPP) ファイナンスアレンジメント アセットマネジメント
77	曾我 彰彦	日本管財(株) (総合企画室 部長)	不動産証券化(J-REIT) アセットマネジメント プロパティマネジメント コンストラクションマネジメント
78	千代 啓三	(独)鉄道建設・運輸施設整備支援機構 (東京支社 工事第二部)	トンネル維持補修
80	山田 清	国土防災技術(株) 事業本部 事業統括室 (品質管理 G 長)	斜面防災及び対策(地すべり等)、トンネル 技術教育(技術士：建設部門、森林部門、総監部門等 8 専門取得)
81	神 弘夫	神技術士事務所(代表)	橋梁(新設、維持管理)、道路 PPP インフラ事業
82	鈴木 信行	東洋大学 理工学部 都市環境デザイン学科 (教授)	建設プロジェクトマネジメント

◆ 法人会員

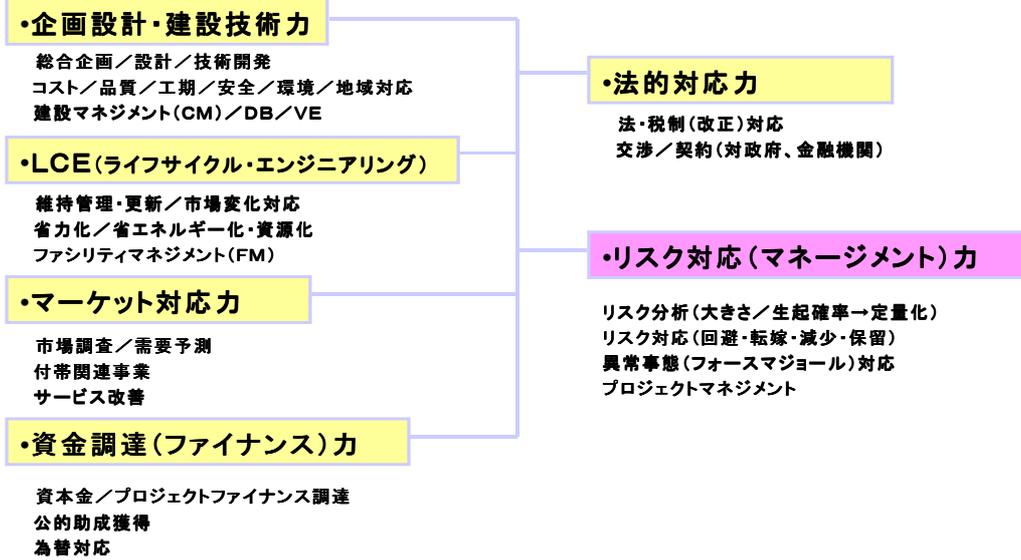
1	大田 弘	(株)熊谷組 (代表取締役会長)	
2	鈴木 泉	(株)ガイアート T・K (経営企画部 担当部長)	社会基盤の維持管理 経験・技術・人脈データベース化 プレゼンテーション力向上
3	安藤 伸	応用地質(株) (エンジニアリング本部 技術研究 所長)	
4	上野 康信	青木あすなる建設(株) (代表取締役社長執行役員)	
5	久下 晴巳	日本道路(株) (技術営業部部長)	ユニバーサルデザイン(道路) アセットマネジメント(舗装) 舗装構造設計 放射線の利用(密封線源)
6	河道 信二	テクノス(株) (リニューアル事業部 工事部部長)	土木構造物のリニューアル工事 (修繕工事・耐震補強工事)
7	木村 哲晃	麻生フォームクリート(株) (営業部 課長代理)	
8	福井 滋	(株)合人社計画研究所 (代表取締役)	PPP・PFI 事業
9	笹島 弘隆	日本ザイペックス(株)	コンクリート構造物補修 トンネルリニューアル
10	丸山 明	(株)インテグレート AMS (代表取締役)	インフラメンテナンス
11	Kam Tara	URaP - TTW P/L CAN (Director)	都市・地域開発
12	塚原 健一	(株)都商事 (代表取締役)	建設資機材研究開発

◆ 賛助会員

法 1	大田 弘	(株)熊谷組(代表取締役)	9 口
法 4	金木 佳昭	金木商事(株)	2 口
個 3	本庄 義信	元阪神電鉄専務取締役	1 口
個 4	有岡 正和		1 口
個 5	熊谷 千也子	明治安田生命	1 口
個 6	瀬古 純子		1 口

参考資料 基盤整備ライフサイクルマネジメントの考え方

建設施設をライフサイクル的にマネジメントするに当たっては、公共事業の PFI 事業化と同様、下図に示すような 6 つのマネジメント要因が重要となる。



これらの 6 つの要因を過不足なく展開していくためには、組織として右に示すような 6 つの「わざ」が満遍なく求められることになる。その 6 つの文字の偏は動く部位を示しており、それらの意味するところはキーワードとして示され、また米国 PM 基準としての PKBOK が掲げる 10 のマネジメントカテゴリーそれぞれに対応する。

各々の 6 つの事象が作る 2 つの「五角形のこま (Pentagonal Top)」を想定するとき、それぞれが作る 5 つの辺と軸がバランスをとって回り続けること (持続可能性) が重要となる。

Chinese Letter	Moving Part	Key Words	Managing Categories in PMBOK
技	Hand	skill technique experience	Project Quality Management Project Time Management
伎	Man	human relation team work motivation	Project Human Resource Management Project Communicatioka Management
忒	Heart	policy & will enthusiasm philosophy	Project Scope Management
鈺	Money	finance	Project Cost Management Project Procurement Management
吱	Mouth	presentation negotiation contract	Project Procurement Management
絃	String	cordination integration risk & return	Project Risk Management Project Integration Management

